

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ミヤコ株式会社
 コード番号 3424 URL <http://www.miyako-inc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 末田 勝
 (氏名) 松田 博幸
 TEL 06-6352-6931
 配当支払開始予定日 平成29年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 2,398 | 4.4 | 156 | 61.8 | 169 | 63.1 | 115 | 65.1 |
| 29年3月期第2四半期 | 2,297 | 1.9 | 96 | 17.9 | 104 | 18.3 | 70 | 1.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 42.30 | |
| 29年3月期第2四半期 | 24.14 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 4,983 | 3,603 | 72.3 | 1,314.94 |
| 29年3月期 | 4,875 | 3,468 | 71.1 | 1,265.55 |

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 3,603百万円 29年3月期 3,468百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | | 10.00 | | 17.00 | 27.00 |
| 30年3月期 | | 10.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 15.00 | 25.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当2円00銭
 30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当15円00銭

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,150 | 3.9 | 385 | 11.2 | 400 | 10.9 | 277 | 15.4 | 101.08 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想数値は、当第2四半期会計期間末の発行済株式数(自己株式控除後)が当事業年度末まで同数であると仮定して算出しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 4,587,836 株 | 29年3月期 | 4,587,836 株 |
| 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 1,847,408 株 | 29年3月期 | 1,847,408 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 2,740,428 株 | 29年3月期2Q | 2,907,472 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における住宅・非住宅向けの管工機材業界におきましては、住宅取得優遇制度の継続や、住宅ローン金利の低下などを背景に個人消費に緩やかな改善の動きがみられましたが、新設住宅着工戸数は持ち直しの動きに一服感がみられるなど、横ばい傾向で推移いたしました。

しかしながら企業間の価格競争やサービス競争が激化するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社ではブランド力を大いに発揮し飛躍させるべく、販売力の強化、アイデア商品の開発、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は23億9千8百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。利益面では、営業利益は1億5千6百万円（前年同四半期比61.8%増）、経常利益は1億6千9百万円（前年同四半期比63.1%増）となり、四半期純利益は1億1千5百万円（前年同四半期比65.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて4千1百万円増加し、40億2千4百万円となりました。

これは主に、売上債権が1億3千5百万円減少したものの、現金及び預金が8千4百万円、商品及び製品が9千2百万円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて6千5百万円増加し、9億5千8百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が上昇したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1億7百万円増加し、49億8千3百万円となりました。

(負債)

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて3千万円減少し、12億9千2百万円となりました。

これは主に、仕入債務が2千2百万円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べて2百万円増加し、8千7百万円となりました。

これは主に、役員退職慰労引当金を積み立てたことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2千8百万円減少し、13億7千9百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億3千5百万円増加し、36億3百万円となりました。

これは主に、四半期純利益1億1千5百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、15億3千9百万円となり、前事業年度末に比べ8千4百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1億3千7百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益を1億6千9百万円計上したことや、売上債権が1億3千5百万円減少したことによる資金の増加があったこと等によるものであります。

前年同四半期での対比では、営業活動によるキャッシュ・フローは4千1百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は7百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

前年同四半期での対比では、投資活動によるキャッシュ・フローは1百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は4千6百万円となりました。

これは、配当金を支払ったことによるものであります。

前年同四半期での対比では、財務活動によるキャッシュ・フローは1億1千3百万円増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点において平成29年8月10日付「平成30年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (非連結)」にて公表いたしました業績予想数値に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,454,988 | 1,539,026 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,412,144 | 1,297,346 |
| 電子記録債権 | 349,982 | 329,552 |
| 商品及び製品 | 696,105 | 788,947 |
| 貯蔵品 | 11,085 | 7,327 |
| その他 | 58,940 | 62,921 |
| 貸倒引当金 | △400 | △500 |
| 流動資産合計 | 3,982,847 | 4,024,621 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 45,992 | 44,329 |
| 土地 | 343,294 | 343,294 |
| その他(純額) | 10,098 | 14,114 |
| 有形固定資産合計 | 399,385 | 401,739 |
| 無形固定資産 | 18,352 | 14,277 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 247,645 | 342,755 |
| 繰延税金資産 | 30,806 | 1,722 |
| その他 | 197,292 | 198,366 |
| 貸倒引当金 | △383 | △383 |
| 投資その他の資産合計 | 475,361 | 542,460 |
| 固定資産合計 | 893,099 | 958,477 |
| 資産合計 | 4,875,947 | 4,983,098 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 421,527 | 407,722 |
| 電子記録債務 | 514,833 | 506,515 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 未払法人税等 | 63,101 | 60,479 |
| 賞与引当金 | 41,000 | 42,000 |
| その他 | 82,164 | 75,296 |
| 流動負債合計 | 1,322,626 | 1,292,013 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 79,103 | 81,918 |
| その他 | 6,070 | 5,670 |
| 固定負債合計 | 85,173 | 87,588 |
| 負債合計 | 1,407,800 | 1,379,602 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 564,952 | 564,952 |
| 資本剰余金 | 119,774 | 119,774 |
| 利益剰余金 | 4,793,359 | 4,862,683 |
| 自己株式 | △2,104,783 | △2,104,783 |
| 株主資本合計 | 3,373,301 | 3,442,625 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 94,845 | 160,871 |
| 評価・換算差額等合計 | 94,845 | 160,871 |
| 純資産合計 | 3,468,147 | 3,603,496 |
| 負債純資産合計 | 4,875,947 | 4,983,098 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 2,297,645 | 2,398,106 |
| 売上原価 | 1,591,157 | 1,647,292 |
| 売上総利益 | 706,487 | 750,813 |
| 販売費及び一般管理費 | 609,613 | 594,086 |
| 営業利益 | 96,874 | 156,727 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 4 |
| 受取配当金 | 3,554 | 3,947 |
| 仕入割引 | 10,644 | 10,893 |
| 受取保険金 | — | 6,029 |
| その他 | 3,573 | 2,734 |
| 営業外収益合計 | 17,776 | 23,608 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 270 | 256 |
| 売上割引 | 9,181 | 9,660 |
| その他 | 1,004 | 506 |
| 営業外費用合計 | 10,455 | 10,424 |
| 経常利益 | 104,194 | 169,911 |
| 税引前四半期純利益 | 104,194 | 169,911 |
| 法人税等 | 34,000 | 54,000 |
| 四半期純利益 | 70,194 | 115,911 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 104,194 | 169,911 |
| 減価償却費 | 11,485 | 8,544 |
| 長期前払費用償却額 | 14 | 69 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,000 | 1,000 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2,800 | 2,815 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △376 | 100 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,557 | △3,951 |
| 支払利息 | 270 | 256 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 238,991 | 135,228 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △7,322 | △89,083 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △117,238 | △22,123 |
| その他 | 8,069 | △15,714 |
| 小計 | 236,330 | 187,053 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,557 | 3,951 |
| 利息の支払額 | △270 | △256 |
| 法人税等の支払額 | △60,904 | △53,080 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 178,713 | 137,667 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,907 | △5,858 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △330 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 1,970 |
| その他 | △2,607 | △3,113 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,844 | △7,001 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △115,883 | — |
| 配当金の支払額 | △44,048 | △46,627 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △159,931 | △46,627 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 12,936 | 84,038 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,447,415 | 1,454,988 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,460,352 | 1,539,026 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。